

初のホーム自社開発

三鷹市で23棟目新設

アスパートナース(東京都千代田区)は5月1日、東京都三鷹市に23棟目の介護付きホーム「アスパイム三鷹」(93室)を開業した。入居者ごとに1日のスケジュールをカスタマイズする点が特徴。記録・コール・見守りをスマホで管理するシステム「EGAO link」を活用し、データに基づきながら活動内容やケア方法を提案、本人の希望に合った過ごし方を提供する。



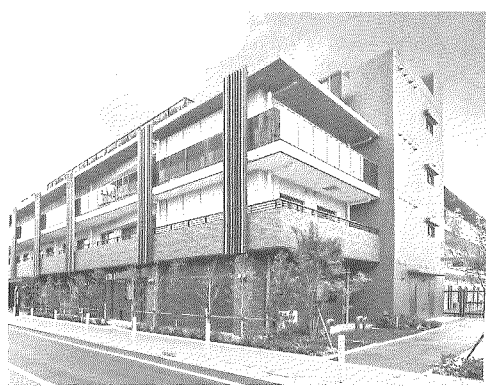
アズハイム三鷹 兵頭麻子ホーム長

同社としては初めて自社開発を実施。経営企画室の富永諒氏は「今まではオーナーが建てたホームを借りて運営する形だったが、入居者が過剰しやすい理想の環境を実現すべく、自社開発に至った」と語る。

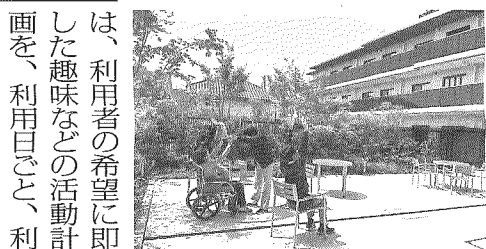
アスパートナース

「今まではオーナーが建てたホームを借りて運営する形だったが、入居者が過剰しやすい理想の環境を実現すべく、自社開発に至った」と語る。また、地域に貢献できるホームを目指し、市と協議した上で敷地内約1.5メートルの歩道スペースを確保し、地域住民が利用しやすい環境を整備した。また、地域に貢献できるホームを目指し、市と協議した上で敷地内約1.5メートルの歩道スペースを確保し、地域住民が利用しやすい環境を整備した。

趣味活動を促進



アスパイム三鷹 外観



緑あふれる中庭で体験

また、地域に貢献できるホームを目指し、市と協議した上で敷地内約1.5メートルの歩道スペースを確保し、地域住民が利用しやすい環境を整備した。また、地域に貢献できるホームを目指し、市と協議した上で敷地内約1.5メートルの歩道スペースを確保し、地域住民が利用しやすい環境を整備した。

第17回 規制改革で「タスクシェア」

政府の規制改革推進会議が5月27日にまとめた答申で、訪問看護師の業務の一部を薬剤師が担えるように「タスクシェア」の検討が入った。「薬剤師、看護も分担」(5月28日の毎日新聞)、「薬剤師、点滴交換も」(同日の読売新聞)と業

剤師の業務が注目されたが、6月1日の日本経済新聞の社説は、タスクシェアで「医師の業務独占分野にもメスを」と切り込んだ。「看護師が医行為を行えるよう法改正すべき」と提言した。その通りだろう。「米国やカナダではワクチンを打つのは薬剤師の仕事」と海外事例を挙げ、日本の「医師の聖域」が時代遅れだと説く。

「看護師に医行為を」と日経

社説では5月29日にかかりつけ医を論じた産経新聞にも着目したい。全世代型社会保障構築会議での提案を評価し、「機能発揮できる制度化を」

と主張。「首を傾げるのは、かかりつけ医の制度化を認めないとする日本医師会の考え方である」と真つ当な指摘だ。コロナ禍でかかりつけ医への不信が高まり、制度化は焦眉の急だ。6月1日の毎日新聞は、家庭医を推進する日本プライ

省案の拘束要件に異を唱えた。「治療が困難」を要件に加える案で、拘束の拡大につながる断言。「第三者の目を届かせよ」とも。6月6日には被害事例も上がった。疑問を抱かせる社説もあった。6月2日の毎日新聞と東京新聞は、共に

マリケア連合学会の草場鉄理理事長へのインタビューで「かかりつけ医に研修を実施して認定すれば」と制度化のプランを引き出した。光を放ったのは5月30日の東京新聞の社説だ。「精神科の拘束 患者の立場で見直し」と厚労

省の出生数が前年比マイナ保険証を取り上げ、「国民の視点を欠く」「強引な普及は慎むべき」と否定論を展開。マイナバーの普及による社会的メリットは米国や北欧で明らか。医療界のデジタル嫌いに風穴を開ける第一歩のはずだ。昨年の出生数が前年比

在宅医療整備を 社保審 24年改定向け議論

厚労省

厚生労働省は5月30日、第94回社会保障審議会介護保険部会を開催した。2024年の介護保険制度改正に向け、地域包括ケアシステムの更なる深化・推進を中心に議論された。委員からは認知症施策、総合事業の推進に加えて、在宅医療基盤の整備が重要だとする声が多く挙がった。厚労省は、医療需要

の増加について、多くの2次医療圏で外来患者数が減少傾向にあることを紹介。反対に在宅患者数は増加を続け、40年以降に203の2次医療圏でピークとなる見込みとした。在宅医療の委員からは、環境整備が不十分で、利用が進んでいない現状の改善を望む声が多く挙がった。染川朗委員(UAゼンセン日本介護クラフトユニオン会長)は、在宅医療を支える定期巡回・随時対応型訪問介護看護と看護小規模多機能型居宅介護について、「全自治体数よりも少なく、地域によってはサービスを利用できない」と指摘。地域偏在が起きている理由を明らかにし、普及・定着させることが急務、と意見を述べた。

CHECK チェック
マスコミ 報道
一介護・医療ニュースを読む
ジャーナリスト 浅川澄一
元日本経済新聞編集委員
1971年慶応大から日本経済新聞社に入社。流通業、サービス産業などを担当。87年「日経トレンド」を創刊、編集長に。93年流通経済部長、98年編集委員。

ニュース・総合

初心者でも動画で学べる
転倒予防フット足爪ケア講座

老化は足の衰えから。今、医療や介護の現場で注目されるフット足爪ケアの技術をお伝えします!

理学療法士と看護師が監修した最新の技術と知識が学べる講座。フットケアトリートメントと足爪ケアの応用技術、皮膚疾患への対応法、多人数を同時にケアする方法など、足のむくみや動きにくさ、転倒の不安を感じている方に対し、お仕事の場やご家庭ですぐに活かれます。

オンライン技術指導 60分 + 動画教材 20本 55,000円

角質ケア、足爪ケア、フットマッサージなど、誰でも手軽にできる技術を講座と実技を交え学びます。

要予約
講師 ソシオエステティシャン 吉本智美

美容の技術を介護や介護予防に役立てることに着目し、フット足爪ケアの技術を広める講座を15年前から展開。

お申込み・お問い合わせ
info@socialcare-beauty.or.jp
広島市中区大手町3丁目1-7-301号

京の老舗の食の器職人がお届けする
京の器
プレミアムショップ

ノンスリップ盆3つのポイント

- ★利用者様に安全を!
→お盆を左右に揺らしても倒れにくい
- ★スタッフ様の作業負担軽減を!
→配膳作業を軽減、食洗器対応で楽に衛生管理
- ★業界最安値に挑戦!
→自社製越前漆器・直営のため高コスパでお届け

株式会社セントラル
京都府京都市南区上鳥羽仏現寺町55番地
https://kyonoutsuwa.com/

◎読者限定クーポン:KJKYO3OFF
商品代金2万円以上ご購入でチェックアウト画面にて上記のクーポンコードをご入力頂くとお一人様1回までHP表示価格より3%OFF (6月末迄限定)